

労山コーナー

京都府連盟 無雪期搬出訓練のご案内

救助隊事務局

昨年に引き続き屋外で訓練を雨天決行で行います。
今年の応急手当は西山ハイキングクラブが担当します。山行中に誰かがケガをしたら応急処置はどうするのか、各会ではそれぞれに訓練を行ったりマニュアル等があるかと思いますが、搬出訓練の応急手当は各会の取り組みの水平展開、共有と新たな処置方法の発見を目的の一つとしています。今年の搬出はロープを使った組織レスキューと共に、日頃持って行っている装備だけを使った現実的なセルフレスキューも行います。初めての試みでうまく行くかどうかは分かりませんが実際にやって改善を重ねてより良い方法を追求して行きたいと思っています。

- 1 実施日 2019年6月30日(日) 雨天決行
- 2 全体集会、訓練場所
応急手当：JR 山崎駅から東に歩いて 10 分の桜の馬場公園
ネット搬送：天王山登山道
セルフレスキュー搬送、組織搬送：天王山山頂広場周辺
- 3 スケジュール予定
8 時 30 分～ 受付開始 9 時 00 分 開始挨拶
9 時 10 分～応急手当訓練——西山ハイキングクラブ担当
11 時 00 分～15 時 30 分 ネット搬送、昼食、セルフレスキュー搬送、組織搬送
15 時 30 分～山頂広場で反省会 16 時 00 分 解散
- 4 持ち物：応急手当 一般日帰装備一式と筆記具
搬出法 一般日帰装備(非常用装備を含む)とヘルメット(持っていない方は無くてもいいです)
- 5 参加条件：労山基金又は民間山岳保険加入者
- 6 申込 6/7(金) 〆切 労山部平尾まで

第4回 京都府連盟登山道整備 一大文字山を整備しようー

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し。多くの登山者の安全のために
将軍塚遊歩道整備は多数のご協力で終了しました。ありがとうございました。
今月からは府民の山の一大文字山の国有林内の登山道を整備します。大文字山登山道整備も京都大阪森林管理事務所の許可を得ています

★実施日：6月16日(日) 雨天中止 7月以降も実施しますが日は未定です。

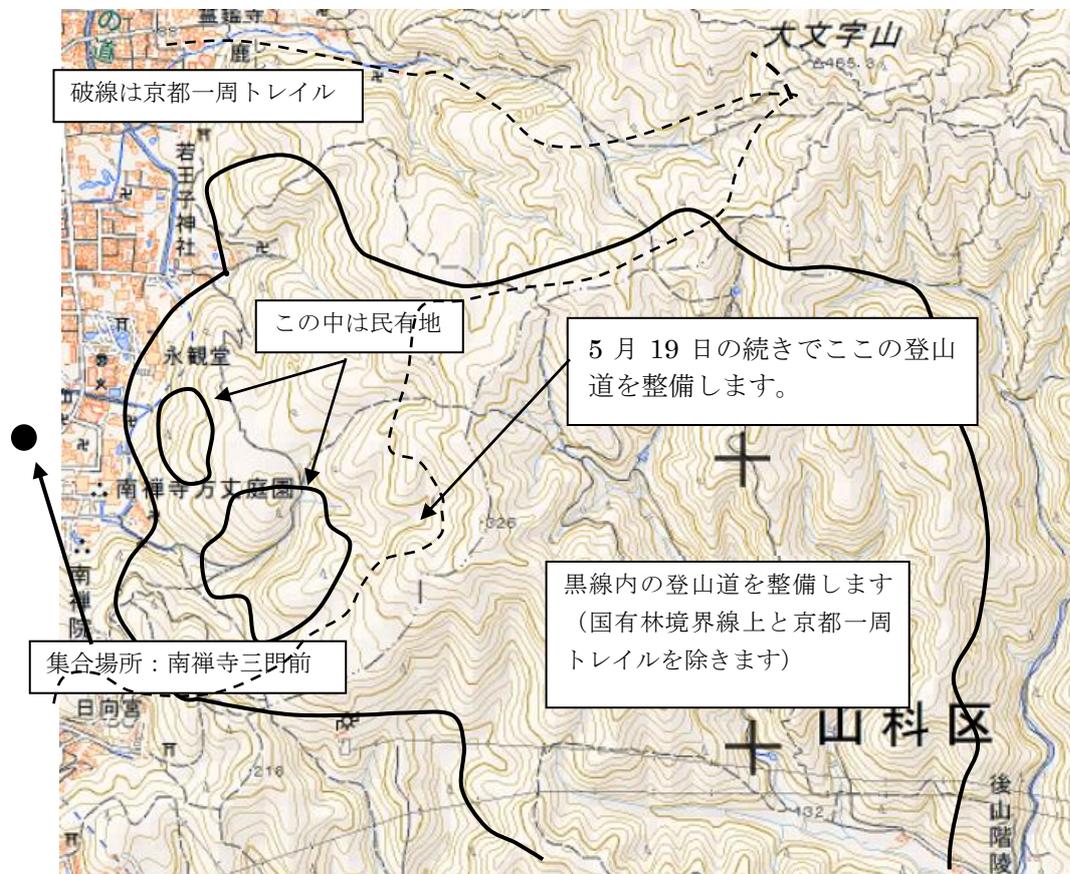
前日の20時までに実施有無決定

★申し込み締め切り：6月11日(火)

★集合場所：南禅寺 「絶景かな」の三門前 9時00分

★参加申込先：やましな山の会 青山郁夫 080-3797-4392 携帯メール
2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp 個々か会でまとめて（労山部 平尾まで）申し込んで下さい。

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、軍手、お茶、お弁当、救急薬品
持っていれば ヘルメット、ノコギリ、マスク、チェーンソー
装備（ノコギリ等）の破損については連盟として責任を負いかねますのでご了承下さい。



女性委員会公開山行 案内

釈迦岳・ポンポン山

樹々のあおあおとした西山を歩きましょう！小泉川上流の谷をながめながら京青の森に向かいます。尾根道を上り詰めると東山など一望できる見晴らし台があります。ポンポン山へは長い道のりですが、縦走路も楽しいです。男性も大歓迎です。お待ちしております。

日 時 6月23日（日） 雨天中止

集 合 阪急・長岡天神駅 西口 8時10分

循環阪急バス 奥海印寺行 8時22分乗車します

※JR長岡京で乗る方は、2番乗り場 8時15分発です

コ ー ス 西代里山公園管理棟～京青の森～見晴らし台～釈迦岳～ポンポン山～釈迦岳～

分岐～杉谷～三鈷寺～善峯寺バス停 解散 歩行時間 6時間

持 物 日帰り必携装備 弁当、行動食、水分多めに

地 図 1/25,000 地図 「京都西南部」、 西山連峰トレッキングマップ

申 込 山下美喜子（西山ハイキング）

携帯 090-2100-4084（Cメールで）

P S mikik0yama51@hotmail.co.jp

申込時に所属会名・氏名・携帯番号・緊急連絡先を必ず知らせてください。

★切 6月20日(木)

☆帰りのバスの最終は16時24分です。

第14回初級登山学校が開校します

教育遭難対策委員会 山下 建夫

今年10月、第14回初級登山学校が開校され創設以来28年になります。第1回初級登山学校は平成5年・1993年に開校されました。以来、多くの卒業生を連盟に送り出しました。「初級登山学校が送り出した卒業生は各会での教育講座の教師やリーダーとして活躍して会の教育力や山行活動の拡大や向上につながっている」と高い評価を戴いています。（19年4月・組織拡大委員会報告より）。初級登山学校における「目的」は普通コース、①安全登山思想・基礎的登山技術を普及できるリーダーを育成する、②3000m級山岳一般縦走のリーダーを育成する。講師養成コースでは連盟教育活動を次世代に発展継承する人材を育成するとされています。現在、初級登山学校は普通コースを受講される方が多く見受けられ上記①・②の目的を理解し会に戻りリーダーとして活躍されています。そしてその活躍が講師養成コースで目的とされた連盟活動において連盟活動を支える人材として活躍されています。受講生の当初の目的は「ジャンに登りたい」、「難関コースにチャレンジしたい」と初級登山学校の目的とは離れたところがありますが、初級登山学校を受講する中で安全登山思想や登山技術の向上を身につけ自然発生的にリーダーとしての自覚が芽生えてきています。各会・クラブからはぜひ開校に備えて多くの会員の方々を送り出していただきたいと思います。所属する会の活性化を図る意味でも初級登山学校に人材を送り出しUターンで戻ってきた卒業生をリーダーとして迎え入れ活躍を期待して下さい。そのため、連盟として優秀な講師を多数そろえてお待ち申し上げます。